

# 福祉の輪 広げたい



社会福祉法人  
緑友会

ホームページ

緑友会

検索



写真は、昨年の「あつぎ鮎まつり」の様子。あつぎ鮎まつりは、8月上旬に開催される厚木市最大のイベントです。オープニングパレード、Dance Legend パフォーマンスステージ、大花火大会など、多くの催し物が繰り広げられます。今年は、8月5日(土)、6日(日)に開催されます。(写真提供：厚木市広報課)

第28号の内容	
あつぎ鮎まつり	1
NEWS 1～12	2・3
ピックアップ	4～7
新もろさんが行く	8



夜空に映える“大花火大会”  
(相模川河川敷：三川合流点)



華麗に、鮮やかに舞い踊る  
Dance Legend  
パフォーマンスステージ

## NEWS 1 広報板を設置しました！



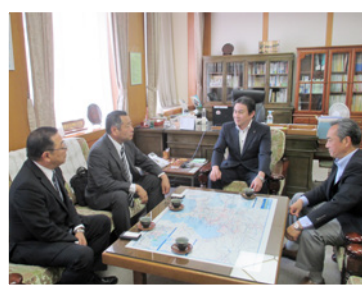
### みどり園

保育や支援の職員確保は熾烈な競争となっています。緑友会では以前より処遇改善や広報体制を整備する等、『選ばれる施設』となるよう対策を講じてきました。新たな広報板はイベント告知や職員募集の掲示に活用する予定です。



### 伊勢原ふたば保育園

## NEWS 2 副知事と意見交換！



### 法人本部

津久井やまゆり園再生の議論に基本的な疑問を感じましたので、法人小林総務部長と共に県庁に伺い、中島正信副知事と意見交換をさせていただきました。長田進治県議（海老名選出・元伊勢原ふたば保育園事務長）にも議論に加わっていただきました。



## NEWS 3 新たな評議員の3名です！



大津博康 様



加藤良輔 様



東井克夫 様

新たに元伊勢原市教育委員長の津津博康様、元日教組委員長の加藤良輔様、伊勢原市商工会会長の東井克夫様の3名に評議員にご就任いただきました。厚く御礼申し上げます。

## NEWS 4 成瀬スタジオ：工事着手します！



### 成瀬スタジオ

2年前の用地購入以来、盛土や造成等の工事が進む間に用地全体の利活用計画を検討し、建築の入札議案が5月理事会で承認されました。間もなく『今年末完成』をめざして工事が始まります。

## NEWS 5 常に、より良くしていく！

川ならば流されているのが判りますが、海の真っ只中だと位置の変化が判りません。常に、前進する姿勢で努力を積み重ねないといつの間にか後退しているものです。

28年度処遇改善では慶弔費見直しや運転手当拡充等を決めましたが、法人全体では業務の見直し分会設置や建物安全等調査の拡充、伊勢原ふたば保育園の厨房機器交換、入所施設の清潔さ向上を今年度から重点的に推進していきます。関係各位のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## NEWS 6 職員交流親睦が活発化しています！



### 法人全体

初めてのサークル活動『スキー・スノーボードツアー』の実施や職員交流誌『ゆう』の発行等、職員の交流親睦が活発になっています。今年度の交流委員長は、つくし相談室の柳田室長です。ご協力をお願いします。

## NEWS 7 お蔭様で開設5周年！



### 本厚木ふたば保育園

本厚木ふたば保育園は厚木市や神奈川県、保護者の皆様はじめ多くの方のご理解とご支援により開設5周年を迎えました。記念事業の人形劇は大変盛り上がり一層の発展を誓い合いました。今後共よろしくお願い申し上げます。

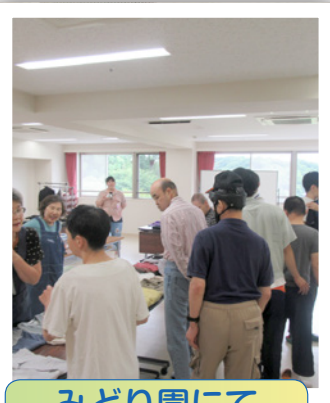
## NEWS 8 『えらべる天丼』って？



### 清川ホーム

利用者さんに安全な材料で身体に良い食事を提供することは当然ですが、清潔な食堂で楽しみを感じていただくことも重要です。清川ホームでは天丼の具をバイキング方式で選べるイベント食を行いました。海老・舞茸・春菊・かます・椎茸など。

## NEWS 9 衣料の訪問販売！



### みどり園にて

外出着や室内着、靴やバッグなど、つくしでは皆様に提供していただいたリサイクル品を洗濯やリフォーム等をして安く販売し、利用者の工賃とする他、貴重な社会復帰体験となっています。

## NEWS 10 より安全な環境を目指して！



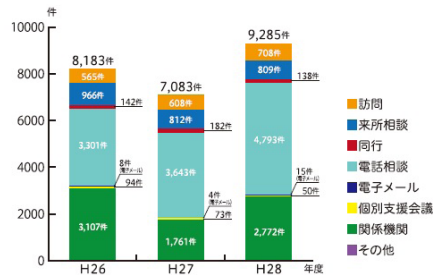
障害者施設は建築基準法に則り専門家が調査を行い建物定期報告を県に提出しますが保育園には同制度がありませんので、両ふたば保育園では法人独自に同調査を今年度より行うことにしました。

## NEWS 11 相談の新規受付停止中！

グループホームや福祉施設への入居、就労支援など障害福祉サービスを受ける場合は『サービス利用計画』の作成が必要です。

つくし相談室は右表の通り相談件数が急増し職員の増員や適切な相談環境とするために事業所移転などをしてきましたが、登録者数が限界と考えましたので新規の受付を停止しています。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。



## NEWS 12 しゃぼん玉ショー！



### 伊勢原ふたば保育園

伊勢原市子ども科学館に『出張科学館』を今年も開催していただきました。しゃぼん玉の中に入ることまでできて、子ども達は大喜び！ 県の交通安全教室や消防の避難訓練など、園児への応援に感謝します。

## ピックアップ 1

### 書道ガールズ (ボーイズもいます!) 『目指せ! 高野山・伊勢神宮』 (みどり園)

みどり園へ来られた時に気付いた方もいらっしゃるのではないのでしょうか?みどり園のホールには、利用者さんが書いた書道の作品『こすもす』『あけぼの』を展示しています。そして、この作品からもう少し歩を進めると、数々の賞状が目飛び込んできます。みどり園ではここ数年、書道がちょっとしたブームになっています。

みどり園には書道を教えられる職員がいて、その職員の音頭によって書道ブームが始まりました。初めは数えるほどの利用者さんも少しずつメンバーが増えてきました。昨年度は、8月に開催された『高野山競書大会』に6名が出品し、なんと! 3名が「秀作」、1名が「準特選」、1名が「特選」、そしてもう1名の方は「特別賞 推薦」という賞を頂き、高野山での表彰式に招待されました。日程が合わず、残念ながら表彰式の出席は辞退しましたが、とても栄えある賞を頂き、利用者さん・職員とも誇らしげに胸を張っていました。また、その後の『伊勢神宮奉納書道展』にも出展した全員が「金賞」「銀賞」を頂きました。賞を取った時の自信に満ちた顔はとてもステキでした。



私も何度か、利用者さんが書いているところへお邪魔させて頂いたことがありますが、初めのうちは、「やだ! 見ないでよ~」とか「見ちゃダメ~」と言って隠す方がほとんどでしたが、最近では「ねえ! 見て!」「うまいだろ!」と逆に自慢されるほどです。

私も悔しいので、これ見よがしに書いてみましたが、「へただな~」と言われ、その場を退散してしまいました。利用者さんは、これからもいろいろな書道大会に出展していくとのことですので、皆さんも書道の作品展に足を運んでみて下さい。もしかしたら一番目立つところに「みどり園」の文字を見ることができるともかもしれませんよ。

(みどり園 支援課長 米満 修一)

## ピックアップ 2

### 雑巾がけで様々な効果 (本厚木ふたば保育園)

本厚木ふたば保育園のひまわり組(5才児)では、昼食後毎日、保育室の雑巾がけを行っています。雑巾がけは、集中力・瞬発力・注意力・腕の筋肉・背筋・腹筋・足腰の強さ・コントロール力などが備わってなければできません。普段とは違って腰が頭や肩より高い所にくる姿勢をとることも感覚の刺激になります。手元の雑巾と前方のゴールを見て進んでいくことから、目で見える力も高まってきます。これは、普段のおしゃべりの時の自分と相手の距離感をつかむ事にも繋がります。

雑巾がけをすることで、足の指をしっかりと使えるようになり、速く走れるようになったり、体のバランス力が高まったりします。始めたばかりの4歳児の頃は、腕の力もなく、蛙のように進んだり、倒れてしまう児が多かったのですが、今では走るように進むことができるようになってきました。また、自分たちで気が付いて、汚れている所や落ちているゴミも雑巾で拭きとって進むこともできるようになってきました。運動機能を発達させる効果の他にも、部屋を綺麗にするという意欲が生まれてきています。



腕や足の力、体力もついてきて、保育園から遠い公園にも喜んで行けるようになってきました。ぼうさいの丘公園に行く途中の坂道では、「今日も走ろう!」と子ども達からリクエストされたり、公園でも鬼ごっこやしっぽ取りなど走る遊びをみんなで好んで行ったりしています。そして、沢山遊んだ帰り道は「お腹すいたね! 早くご飯食べたいね!」などと話し、食に対しての意欲も出てきています。

たかが雑巾がけと思わず、このような良い効果が沢山期待できる「雑巾がけ」を、今後も続けていきたいと思えます。

(本厚木ふたば保育園 リーダー保育士 伊藤 幸恵)

## ピックアップ 3

### 成瀬スタジオ完成に向けてスタート（アトリエ ヴェルデ）

いよいよ新しい成瀬スタジオの建築工事がスタートします。平成 27 年度から建設に向けた検討を始めて 1 年余、紆余曲折ありましたが、ようやく新しいアトリエ ヴェルデが形となってきます。

平成 26 年 4 月から現在の場所で行っている利用者さんへの就労支援も、今年の 12 月には、新しい成瀬スタジオに移転します。成瀬スタジオは作業棟と事務食堂棟の 2 棟で構成します。作業棟は、作業室・更衣室・休憩室・トイレ等を備えた木造 1 階建て、事務食堂棟は、事務室と食堂のユニットハウス 1 階建ての計画です。

利用者さんが明るく広々とした新しい建物で気持ちよく作業している様子を想うと、1 日も早い完成が待ち遠しいです。



成瀬スタジオ建築予定地



送迎の様子

また、アトリエ ヴェルデでは 4 月より送迎サービスを開始しました。送迎サービスは 1 日の支援における始まりと終わりにあたる部分を担い、支援者の心構えで「楽しい 1 日」を利用者さんに演出できる大事な位置づけになります。送迎も単に利用者さんを送り迎えするだけでなく、目的地への最短ルートや道路混雑を避けるルートなどを考慮しつつ、細くて狭い道路や危険が伴う道路を避けたコースを設定しています。成瀬スタジオへの移転後についても、利用者さんの要望に添った送迎ルートを検討し、利用者さんが毎日楽し

く通所できるよう安全な送迎に努めていきます。

今年度は、成瀬スタジオが新築され、作業環境が大幅に向上されるなど、アトリエ ヴェルデにとって大きな節目の年になります。また、4 月から 5 名の新規の利用者が加わり、さらに、新たな作業として NPO 法人神奈川セルフセンターから「リンガーハット伊勢原石田店」の除草業務を受託するなど、いいスタートが切れました。これからも、より一層の協力企業の開拓、工賃向上など利用者皆様がよるこんで通所できる、安心して通所できる新しいアトリエ ヴェルデをめざしていききたいと思います。（アトリエ ヴェルデ 主査 斎藤 経勝）

## ピックアップ 4

### 新入職員研修（つくし相談室）

みどり園の研修担当から「みどり園に入職した新人に『社会福祉の基本的なこと』を教えてもらいたい」との相談を受け、つくし相談室では、3 年前からみどり園の新人職員に研修を行っております。新人とはいえ、それまで積まれてきたキャリアは様々です。福祉の専門でない学校を卒業して初めての職場がみどり園という職員、社会経験を積んでいるが社会福祉の現場は初めてという職員、社会福祉を専攻してきたが現場は初めてという職員、みどり園以外ですでに社会福祉の現場を経験している職員等々、実に様々な「新人」の方にどのような話をすれば良いのか、正直悩みました。

ご縁があって同じ法人の仲間になったので、少しでも「聞いて良かった」と思える研修にするために、みどり園の研修担当と話し合い、キャリアの差はあっても、同じ職場で働く仲間になった以上、こちらが伝えたいことを軸に研修を行うことにしました。

最初にどんな「新人」でも共通していることは、これから社会福祉法人緑友会で働くということ、その基本理念に基づいて働いていくことの確認でした。その上で社会福祉の現場で働く際「どうして利用者の方を支援するのか」「どうしてその支援が『社会的制度』であるのか」「なぜ利用者さんの人権は擁護されねばならないのか」などを講義しました。加えて「障害者総合支援法」を含め、新聞などに掲載されている国の政策が自分の仕事とどう関係して行くのか、などを説明しました。

皆さん本当にまじめに話を聞いてくださり、また率直な質問、意見もいただきました。この研修を通して、自分の今までの仕事を振り返ることができました。また人に教えることは自分が新たに学べる機会となる貴重な経験だと考え今後も続けていきたいと思ひます。

（つくし相談室 室長 柳田 将志）



## ピックアップ5

### ☐ げんき家をご存知ですか（げんき家） ☐

緑友会では、現在8つの事業所がありますが、8事業所すべてを知っている方は少ないのではないのでしょうか。8事業所の中でも、特に「げんき家」はあまり知られていないと思います。そこで、改めて皆様に「げんき家」はどういう施設なのか、どういうことを行っているかを知っていただければと思います。

「げんき家」は共同生活援助サービスとして、県の指定を受けたグループホームです。「グループホーム」とは障害のある方が共同生活を営み、世話人が相談・入浴・排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を行う施設です。家族から離れて独立して生活をしたいけれども一人暮らしはできない、そうした障害のある人同士が共同で生活をしていく場所、それがげんき家です。現在、げんき家には4名が入居しており、寝食を共にし、日中は会社や作業所などに通っています。



帰宅後は、夕食や入浴を行い、テレビを見たり、仲間とのおしゃべりなど、どこのご家庭にもある風景と同じです。生活費用は自らが払い、家賃等は行政からの補助金でまかさないです。自分でできないことや悩みなどは、世話人が援助をしたり、相談にのるといった生活支援を行います。

げんき家は「伊勢原市手をつなぐ育成会」により、平成11年2月1日に開設され、平成16年7月1日に緑友会に移管されました。平成29年に18年目を迎え、緑友会では「みどり園」「清川ホーム」「伊勢原ふたば保育園」に次ぐ古い事業所です。

「げんき家」についての簡単な紹介となりましたが、緑友会のグループ施設として、少しでも多くの皆様に知っていただければと思います。

(総務部 後藤 和希)

7:00	起床 朝食 出勤・通所 【職場・施設・作業所】
5:30	帰宅【世話人と夕食づくり】
6:30	夕食【世話人と共に片付け】
7:30	入浴 【テレビ・おしゃべり自由時間】
10:30	就寝

## ピックアップ6

### ☐ 嗜好調査で楽しい食事を（調理・栄養担当者会議） ☐



給食を提供するうえで大切なことは利用者さんの『嗜好』を把握することです。栄養士がどんなに健康的な献立を考えても、食べてもらえなければ意味がありません。そこで利用者さんの嗜好を把握する為、みどり園では毎年1回『個別の嗜好調査』を実施しています。

集団給食における嗜好調査とは、『味付け・分量・温度・提供時間』等が対象者に適しているかを調査するものです。しかし、通常の調査方法では利用者さんが何を望んでいるか分かりづらいということがあり、私が初めて嗜好調査を行った際に、一般的な聞き取り方法で自力解答ができた方は数名でした。これでは利用者さんの嗜好を理解することが難しいと思い、調査の内容を簡素化し、更に料理本を見せながら調査を行いました。この調査方法の改善によって解答できる利用者さんが大幅に増え、半数以上の方の意見を聞くことができました。回数を重ねてきている現在は、『嗜好調査を行います』と言っただけで自ら好きな料理の写真を指差してアピールする方もいます。1人ずつ聞き取りを行うのはとても時間がかかりますが、ゆっくりと時間をかけて調査を行うことで嗜好だけでなく食事に対する悩みや要望を話してくれる方も多くいます。今では定番となったパンバイキング・ハンバーガー・握り寿司といったイベント食も嗜好調査の要望で実現しました。

給食では1日3食のバランスのとれた食事をする事で栄養管理が可能になります。しかし栄養管理を重視し過ぎると、『食事を楽しむ』ということが軽視されるおそれがでてきます。利用者さんにとって本当に喜んでもらえる給食とは何か、それは利用者さんの声を聴くことから始まると思います。なかなか自分の意見をハッキリと言える方ばかりではありません。どんな小さな声にも耳を傾け、寄り添って、これからも利用者さんに喜んでもらえる食事作りをめざしていきたいと思ひます。(みどり園 栄養士 辻 真美)



## ピックアップ7

### ☑ 熱中症予防と対策（医療担当者会議） ☑

近年、増加している「熱中症」。熱中症は、夏の強い日射しの下で激しい運動や作業をする時だけでなく、室内でも起こります。体温の上昇と身体調節機能のバランスが崩れると身体にどんどん熱がたまってしまいます。このような状態が熱中症です。

人の身体は60%が水分でできていて、身体の外に排出される汗や尿の成分にはミネラル（塩分も含む）や糖分、ビタミンといったものが含まれています。汗をしょっぱく感じるのは、身体の細胞が壊れないように体液の塩分濃度が0.9%となっているためです。したがって汗をたくさんかくと体内の塩分を失ってしまいます。熱中症予防のために『水分をこまめにとろう』と言われますが、水だけでは身体の水分不足を補うことができません。ジュースなどは糖分の摂り過ぎになり、緑茶は利尿作用により水分が多く排出されてしまいます。スポーツドリンクはもっとも効果的な飲み物ですが、安価とはいえません。

そこで、みどり園では、熱中症の予防策として、食塩を溶かし入れた麦茶（塩分濃度0.3%程度）を利用者さんに提供しています。安価で美味しい効果的な飲み物としてお勧めです。また、他の予防策として、屋外では涼しい服装をする・日陰を利用する・日傘や帽子を使用すること、室内では温度・湿度に注意し、風通しをよくすること、エアコンを適度に使うことが大切です。

しかしながら、もっとも重要なことは、暑さに負けない体力づくりです。日常的に適度な運動を行い、適切な食事と十分な睡眠をとり、こまめに水分と適度に塩分を補給することです。

今年の夏も猛暑・酷暑が予報されています。是非、暑さに負けない体力づくりに努め、夏を乗り切りましょう。

（みどり園 看護師 橋本 キイ子）



## ピックアップ8

### ☑ 「緑の桜」を探して（総務） ☑

今年も桜の名所では大勢の花見客で賑わう光景が見られました。桜は、春の到来を告げる花であり、桜と言えばソメイヨシノを思い浮かべる人も多いと思いますが、ソメイヨシノの後に咲く「緑の桜」をご存知ですか。

私が初めて「緑の桜」の存在を知ったのは、かなり前のテレビドラマでした。ドラマの内容は覚えていませんが、「緑の桜」という題名だけが印象に残りました。

「緑の桜」とは、正式名を「御衣黄（ギョイコウ）」といい、ソメイヨシノが散った後、4月中旬～下旬頃に咲く桜で、沖縄を除く全国100か所以上で見ることができるそうです。開花したばかりの花は淡い緑色、徐々に黄色に変化していき、やがて花びらの中心部が赤く染まっていくのが特徴です。「御衣」とは、貴族の着物のことを意味し、緑色の花びらが平安時代の貴族の衣服の「萌黄色（モエギイロ）」に近いことが名前の由来だそうです。



過去にはドライブがてら長野県の小諸まで御衣黄を見に行ったこともありましたが、その年は開花が遅れているとのことで見られませんでした。調べてみると長野県まで行かなくても近隣にもあるとのことですが、その後も見る機会がありませんでした。ところが、今年になり、偶然、伊勢原市内の神社境内に御衣黄が咲いているのを見つけました。ずっと見たいと思っていた「緑の桜」を身近に見つけた時は思わず大喜びしたものです。

中々見つからない探し物は意外と身近にあるかも知れません。皆さんも遠くばかりを見ずに、時には近くを見ることも必要ではないでしょうか。

「御衣黄」に興味を持たれた方は、是非探してみてください。そして花言葉も調べてみてください。きっと心が落ち着くと思います。ちなみに、数百品種ある桜のうちで唯一、黄色の花を咲かせる「鬱金（ウコン）」という桜もありますが、こちらは、日本では27本しか存在が確認されていないとも言われる希少な桜だそうです。

（総務局長 矢作 政行）

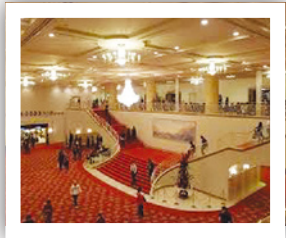


## 新もろさんが行く

大阪梅田に早朝に到着しなければならない用事が急に決まり、日帰りの計画を立てたがあまりにも忙しい。それなら「宝塚大劇場」へ行ってみたらと親切に教えてくれた方がいた。今まで一度も訪れたことはなく、これも何かのきっかけと乗り気になった。



思い立つとすぐに調べる癖でネットで調べてみた。「宝塚大劇場」日本でも有数の本格的なミュージカル劇場で、座席数は2,000名を超える。しかし、座席の予約状況を見ると、1ヶ月半前からほとんど満席で、僅かに30席余りの空席があるのみ。そんなに人気があるのかと驚き、思わずチケットを手配してしまった。



阪急電鉄の創業者、小林一三翁が約100年前に創設されたというエピソードは聞いていたが、わざわざ見物に行くほどのところではないと思っていた。ところが、年のせいか、一生に一度位は見ておこうと思ったのだ。

観劇当日、チケットに示された座席に開演10分前に着き、辺りを見渡すと座席は全て埋まっている。殆どは女性だが、ちらほら男性の姿も見えてホッとす。

定刻通り、突然の大音響とともに幕が上がり、大道具が左右・上下からステージいっぱいにはせり出すと、間髪を入れず様々の衣装を纏ったタカラジェンヌ達が1糸乱れず踊り出す。そしてトップスターが歌い、色とりどりのドレスは幻想の世界を作る。場面に依っては戦場の場面となり民衆達の衣装を纏ったタカラジェンヌもいるが、全体は華やかでオーケストラの楽団に合わせた動きは素晴らしい。



私の席は2階席で、ステージを見下ろす座席だったのでオーケストラボックスの様子が眺められた。20名を越す楽団員が指揮者のタクトに合わせて演奏する。タカラジェンヌ達は舞台上で熱演を続け、大音響で鳴り響く歌声は小型マイクで拾ったものだが技術的には最高だ。“そうか、これが世に言う宝塚レビュー”なのだとなりに吸い込まれてゆく。今回の演目は、18世紀のフランスをテーマにしたものだが予備知識の乏しかった私には内容が分からない所もあった。4時間の公演で最初のうちは、義理で叩いていた拍手が最後のフィナーレの場面では本気で拍手をしていた。

熱演は素晴らしかった。なるほどこのサービス精神が、宝塚を100年間も続けて来られた原動力だと感心する。「美しいだけでなく、夢のある世界をありがとう」  
(もろさん：広報担当理事 諸橋 晃)

### 編集 後記

当法人では本誌に加え、HP（ホームページ）でも情報を発信しています。緑友会で検索し各種情報に接していただければ幸いです。また、各事業所も広報誌やHPに積極的に取り組んでおりますので、是非ご覧ください。尚、聴覚や言語に障害のある方は、HPのお問い合わせに記載されているメールアドレスをご活用ください。

新年度に入って早3か月、改正社会福祉法の下で全力でより良い支援や保育に努めております。

### 「福祉の輪を広げたい」第28号

発行：2017年7月

発行責任者：岩崎尊之（理事長）

編集責任者：矢作政行（総務局長）

事務局：社会福祉法人緑友会 総務部  
伊勢原市伊勢原 3-6-7

Tel 0463-73-7221

印刷：カサハラ印刷株式会社  
伊勢原市白根 475-1

### 社会福祉法人緑友会 各施設のご案内

社会福祉法人緑友会 本部・総務部

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-7221

障害者支援施設 **みどり園**

伊勢原市栗窪605-1 Tel: 0463-93-4722

障害者支援施設 **清川ホーム**

愛甲郡清川村煤ヶ谷3293 Tel: 046-288-2911

認可保育所 **伊勢原ふたば保育園**

伊勢原市高森1391-3 Tel: 0463-92-6226

認可保育所 **本厚木ふたば保育園**

厚木市田村町7-3-2F Tel: 046-295-2525

知的障害者  
グループホーム **げんき家**

伊勢原市桜台2-16-25-201 Tel: 0463-91-7865

就労継続支援  
B型事業所 **つくし**

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-92-7900

相談支援事業 **つくし相談室**

伊勢原市伊勢原3-5-7 Tel: 0463-73-6027

就労継続支援  
B型事業所 **アトリエ ヴェルデ**

伊勢原市田中70-5 Tel: 0463-79-8181